

平成 28 年度知多半島構想区域地域医療構想推進委員会 議事録

- 1 日 時 平成 29 年 2 月 27 日 (月) 午後 3 時から午後 3 時 50 分まで
- 2 場 所 愛知県半田保健所
- 3 出席者 別紙①出席者名簿のとおり
- 4 傍聴人 1 人
- 5 議 題 地域医療構想について

6 会議の内容

(1) 開会のあいさつ (愛知県半田保健所子安所長)

(2) 委員長の選出について

委員の互選により花井委員が委員長に選出された。

(3) 会議の公開・非公開について

開催要領第 5 第 1 項に基づき全て公開とした。

(4) 議題

ア 地域医療構想について

(ア) 事務局説明 (愛知県健康福祉部医療福祉計画課久野課長補佐)

- ・ 資料及び参考資料に基づき、地域医療構想の概要、当構想区域の状況や課題及び国の動向等について説明した。
- ・ 地域医療構想推進委員会は、地域医療構想を推進するための協議を行う場だが、現時点では国で進め方等の検討が進んでいる状況であるため、本日は、主に情報共有を行うこととしたい。

(イ) 質疑応答

- ・ 別紙②のとおり

(5) 閉会のあいさつ (愛知県知多保健所柴田所長)

出席者名簿

構成員

区 分	所 属	役 職	氏 名
市町	半田市福祉部高齢介護課	主査	蛭川 裕一
〃	常滑市福祉部	部長	岩田 久喜
〃	東海市市民福祉部	健康福祉監	坂 祐治
〃	大府市福祉子ども部福祉課 高齢者支援室	室長	近藤 豊
〃	知多市健康福祉部	部長	永井 誠
〃	阿久比町民生部	部長	蟹江 信裕
〃	東浦町健康福祉部福祉課	課長補佐兼高齢福祉係長	三浦 里美
〃	南知多町厚生部	保健介護課長	滝本 功
〃	美浜町厚生部	部長	坂本 順一
〃	武豊町健康福祉部	次長	岩川 佳弘
医師会	半田市医師会	会長	花井 俊典
〃	東海市医師会	会長	小嶋 真一郎
〃	知多郡医師会	会長	安井 直
歯科医師会	半田歯科医師会	会長	畑中 雅之
〃	東海市歯科医師会	会長	水野 泰弘
〃	知多郡歯科医師会	会長	飯嶋 英文
薬剤師会	知多薬剤師会	会長	榊原 瑞輝
〃	西知多薬剤師会		(欠席)
〃	美浜南知多薬剤師会	会長	榎本治彦
愛知県病院協会	半田市立半田病院	院長	石田義博
〃	みどりの風 南知多病院	事務長	杉浦 信道
医療保険者	愛知県国民健康保険団体連合会	主任専門員	杉原 裕子
〃	N T P グループ健康保険組合	常務理事	加藤 弘幸
〃	全国健康保険協会愛知支部	保健グループシニアディレクター	南 和宏
看護協会	愛知県看護協会	知多地区 支部長	白井 麻希
医療機関	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院	院長	宮本 忠壽
〃	公立西知多総合病院	院長	浅野 昌彦
〃	あいち小児保健医療総合センター		(欠席)
〃	常滑市民病院	院長	深田 伸二
〃	知多リハビリテーション病院	院長	梶原 敏夫

事務局

所 属	職 名	氏 名
半田保健所	所長	子安 春樹
〃	次長	内藤 宗秋
〃	総務企画課 課長補佐	藤井 春美
〃	総務企画課 主査	田口 洋子
〃	総務企画課 主査	八澤 佳子
知多保健所	所長	柴田 和顯
〃	次長	石井孝幸
健康福祉部	医療福祉計画課 課長補佐	久野 聖晴

【質疑応答】

- 公立西知多総合病院 浅野院長

公立西知多総合病院の浅野です。

資料2「平成27年度病床機能報告整理（知多半島）」を拝見して、この結果を元に知多半島医療圏の地域医療構想をまとめていくことになろうかと思いますが、当院は、平成27年5月に開院いたしました。この資料のデータは現在我々が提供している医療よりかなり低い数字に記載されております。

例えば、2ページ救急医療の実施状況（年間）ですが、実態を反映しておりません。これを元に議論した時に、知多半島の救急医療が低く評価されるのではないかと想定されます。実のところ、このデータの4、5倍の標準で活動しております。このデータはいつからいつまでのデータを記載されているのでしょうか。

- 医療福祉計画課 久野課長補佐

この資料は、表紙にもございますとおり平成27年度の病床機能報告制度の結果でございますので、各医療機関様から平成27年の10月1日から31日までの1ヶ月間の間に、国に御報告いただいている内容です。実際に救急医療を実施した期間がいつからいつまでかにつきましては、後程報告させていただきます。

- 公立西知多総合病院 浅野院長

私が申し上げたいのは、古いデータを元に議論して、「ここが足りない」ということは、これから29年度、30年度にかけての議論をする上で、参考になるのだろうか、特に、我々の病院が知多半島北部で医療を頑張っているという実態を踏まえた上で、医療提供の内容も変わってきていることを考慮しないといけないということです。

古いデータを元にこれから1年先の医療をどう考えるか、ということは危険なところがあるのではないかと思います。

- 医療福祉計画課 久野課長補佐

説明不足で申し訳ございませんが、今回、資料としてお渡しできるものが、この平成27年度の結果ということで、今後、病床機能報告につきましては、国が、どの時点で取りまとめたものを各都道府県にデータ提供していただけるかによりますが、基本的には最新のデータを御提供させていただきますので、来年度、地域医療構想推進委員会におきまして、平成28年度のデータを整理してお示しさせていただきたいと考えております。

- 半田保健所 子安所長

今、担当者から御説明した通りですので、平成27年10月の1ヶ月間の報告を国がまとめたデータですので、公立西知多総合病院さんは開院されてまだ半年も立たない頃の実績ということでありまして。そのような数字が出ているということ、皆様に御理解いただければ

いいのかなと思います。

○ 常滑市民病院 深田院長

常滑市民病院の深田です。

同じようなことが言えますが、我々の病院も、新病院に変わりました。しかも、病床数に関して言いますと、病床数は減って、包括ケアを導入することで、全く今までの状況と変わってきているということですが、ほんとにこの数年、この1、2年でかなり変わり、病院の変化が起きております。それを反映しないで、今後の将来の構想に関する話をするのは非常に危険であると思います。次回の会議の時には平成28年度のデータを元に話していかないと、今後の色々な議論に差し支えが出てくるのではないかと思います。

○ 委員長（半田市医師会 花井会長）

先生方のおっしゃられるとおりでと思いますので、事務局もデータをリニューアルしていただいて、また議論の場に提供していただきと思います。

他にございませんか。

○ 東海市医師会 小嶋会長

東海市の小嶋でございます。

1年ほど前の会議で質問させていただきました。久野さんには、誠実に対応していただきましてありがとうございました。

このデータの後、昨年12月に許可をいただきまして、今年1月15日、知多市に、知多小嶋記念病院を開設しました。そこでは、療養病床が132床あります。そのことはこの表には現れてないと思います。

愛知県内で1番、療養病床が少ないと書かれてしまっていますので、誤解を解くために必要なことなのでコメントさせていただきますと、表の中にありますように、資料2の1ページ、小嶋病院のところですが、225床分の障害病棟と書かれています。これは、一般病床にカウントされていますが、昨年御質問させていただきました御返事をいただいたところですが、これは療養病床としてカウントするべきものだという事です。慢性期機能ということになりますので、「療養病床が愛知県内で一番少ない」と書かれておりますが、小嶋病院の障害病棟のベッド数225は療養病床と同じ内容じゃないかということ。また、知多小嶋記念病院でも療養病床が、この度132ベッドオープンしておりますので、両方を合わせると350を超える数値が現れていないって事を皆様に御承知おきいただきたいと思ましてコメントさせていただきました。

○ 委員長（半田市医師会 花井会長）

よろしいでしょうか。事務局、そのような話をさせていただいたかと思ます。

○ 医療福祉計画課 久野課長補佐

確かに、この構想区域につきましては、新病院の開院等によって他の構想区域とは状況が違っていることを事務局として承知しております。地域医療構想の策定途中におきましても説明させていただきましたが、平成25年度の実績をベースにして医療資源の状況等を書かせていただいておりますので、実態と異なっていることは承知しております。今後議論を進めていく中では、実態と照らし合わせて数値を見ていただければと考えております。

また、小嶋先生がおっしゃられました、障害者施設等1.5対1入院基本料につきましては、地域医療構想では慢性期機能の病床に含めることについて、国にも確認しているところでございます。

○ 委員長（半田市医師会 花井会長）

よろしいですか。他にどなたか、御意見はございませんか。

かなり細かいデータが出ておりますが、いかがですか。

○ 知多郡歯科医師会 飯嶋会長

知多郡歯科医師会の飯嶋と申します。よろしく申し上げます。

歯科に関するデータは載っておりませんが、今の先生方の言われている、データが古いから議論するにもということをおっしゃってみえますので、議論ができるようなデータを揃えるという回答をいただかないと議論にならないのではないのでしょうか。

○ 委員長（半田市医師会 花井会長）

揃えるとおっしゃってみえましたよね。

○ 医療福祉計画課 久野課長補佐

病床機能報告につきましては、直近のデータを出せる時点で出したいと思いますが、28年度の病床機能報告につきましては、現在、国から速報値も出ていない状況です。

おそらく、来年度の第1回のこの委員会には間に合うのではないかと考えております。

資料を最新のものということですが、事務局で整理できる資料とできない資料がございます。基本的には、国のガイドラインにもこの推進委員会を進めるにあたりましても、まず、病床機能報告と将来必要と見込まれる病床の必要量を比較しながら、情報共有を図りつつ医療機関様の自主的な取り組みを進めることになっております。

病床機能報告以外の資料3につきましても、資料の作成にかなりの時間を要しますので、可能な限り、最新のものに差し替えていきたいと考えております。

○ 委員長（半田市医師会 花井会長）

話の中で、「可能ならば」という話なのでしょうが、特に二次医療圏のデータはお手元に持ってみえますよね。1回国に挙げて、また戻して、という話になって、国からのデータを受け取るとなれば、どうしてもデータが半年ぐらい遅れますよね。2次医療圏の中で会議を行うときは、2次医療圏だけの生のデータ、速報値のようなものを出していただけるといい

かもしれません。

○ 医療福祉計画課 久野課長補佐

病床機能報告につきましては、各医療機関様が直接国に回答する形になっているため、県でデータは持っていません。国からデータが来て、初めて把握できることになっております。県で、先にデータがありましたら、速報値という形でお出しすることもできますが、現状の制度ですと、国からのデータ提供を待たないとわからないという状況になっております。

○ 委員長（半田市医師会 花井会長）

わかりました。いつもここで、どんな会議をやっても同じですが、難しいことだと思います。

○ 厚生連知多厚生病院 宮本院長

知多厚生病院の宮本でございます。

花井先生がおっしゃられたように、医療機関からのデータが国に行って、それをすぐ県で使えないことに問題があって、大きな流れとしては変えていくようなことを県から国に申し立てることはできないものでしょうか。本当に、半年或いは1年後しかこのようなデータが上がってきませんので、それを変えるということも、地域医療構想に迅速に対応しなければいけないと思いますので、よろしくお願ひします。

○ 医療福祉計画課 久野課長補佐

病床機能報告につきましては、この制度ができるときに、国で一旦集約することになってきたかということもありますので、この点については確認させていただきたいと思ひます。

協議に支障をきたすということであれば、やり方を検討していくように要望して参りたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。